

令和6年12月31日

統計トピックスNo. 143

<sup>み</sup>  
「巳年生まれ」と「新成人」の人口

— 令和7年 新年にちなんで —

(「人口推計」から)

<sup>み</sup>  
巳年生まれは1002万人

新成人は109万人

(平成18年生まれ・18歳)

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、令和7年1月1日現在における<sup>み</sup>「巳年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要 約

I <sup>み</sup> 巳年生まれの人口は1002万人

- 男性は485万人、女性は516万人
- 昭和40年生まれが最も多い
- 十二支の中では8番目に多い

II 新成人人口は109万人

- 新成人人口（平成18年生まれ・18歳）は109万人で前年比3万人増  
男性は56万人、女性は53万人
- 新成人人口及び総人口に占める割合は前年に比べ増加、上昇

# I <sup>み</sup> 巳年生まれの人口は1002万人

**男性は 485 万人、女性は 516 万人**

令和7年1月1日現在における<sup>み</sup>巳年生まれの人口は1002万人で、総人口1億2359万人（男性6012万人、女性6346万人）に占める割合は8.1%となっています。

男女別にみると、男性は485万人、女性は516万人で、女性が男性より31万人多くなっています。 (表1、表2)

**昭和40年生まれが最も多い**

<sup>み</sup>巳年生まれの人口を出生年別にみると、昭和40年生まれ（令和7年に60歳になる人）が174万人と最も多く、次いで昭和52年生まれ（同48歳になる人）が172万人、昭和28年生まれ（同72歳になる人）が154万人、昭和64年・平成元年生まれ（同36歳になる人）が129万人などとなっています。最も若い平成25年生まれ（同12歳になる人）は103万人で、最も多い昭和40年生まれより71万人少なくなっています。 (図2、表2)

**十二支の中では8番目に多い**

総人口を十二支別にみると、<sup>うし</sup>丑年生まれが1100万人で最も多く、<sup>ね</sup>子年（1087万人）、<sup>い</sup>亥年（1071万人）と続いており、<sup>み</sup>巳年生まれは8番目となっています。(表1、図1)

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12359	100.0	—
子(ね)	1087	8.8	2
丑(うし)	1100	8.9	1
寅(とら)	1070	8.7	4
卯(う)	1052	8.5	6
辰(たつ)	1067	8.6	5
巳(み)	1002	8.1	8
午(うま)	949	7.7	12
未(ひつじ)	1007	8.1	7
申(さる)	995	8.1	10
酉(とり)	959	7.8	11
戌(いぬ)	998	8.1	9
亥(い)	1071	8.7	3

図1 十二支別人口

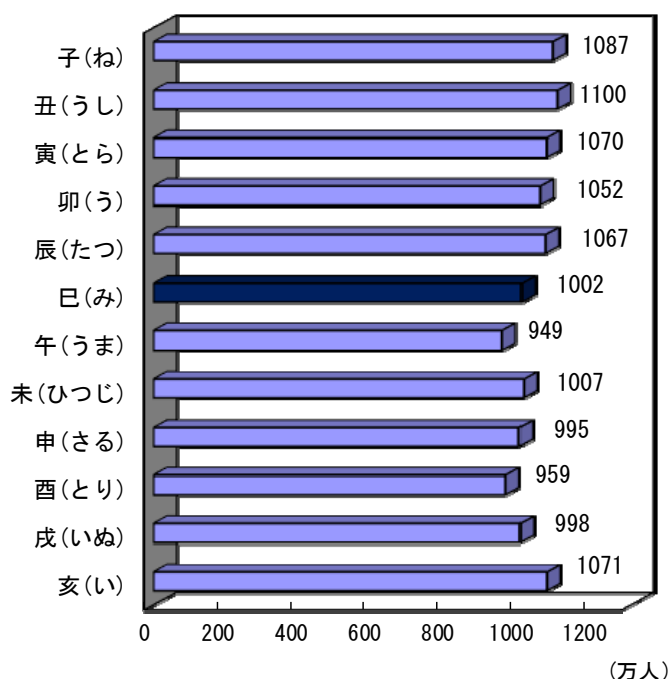


図2 男女、出生年別<sup>み</sup>已年生まれの人口

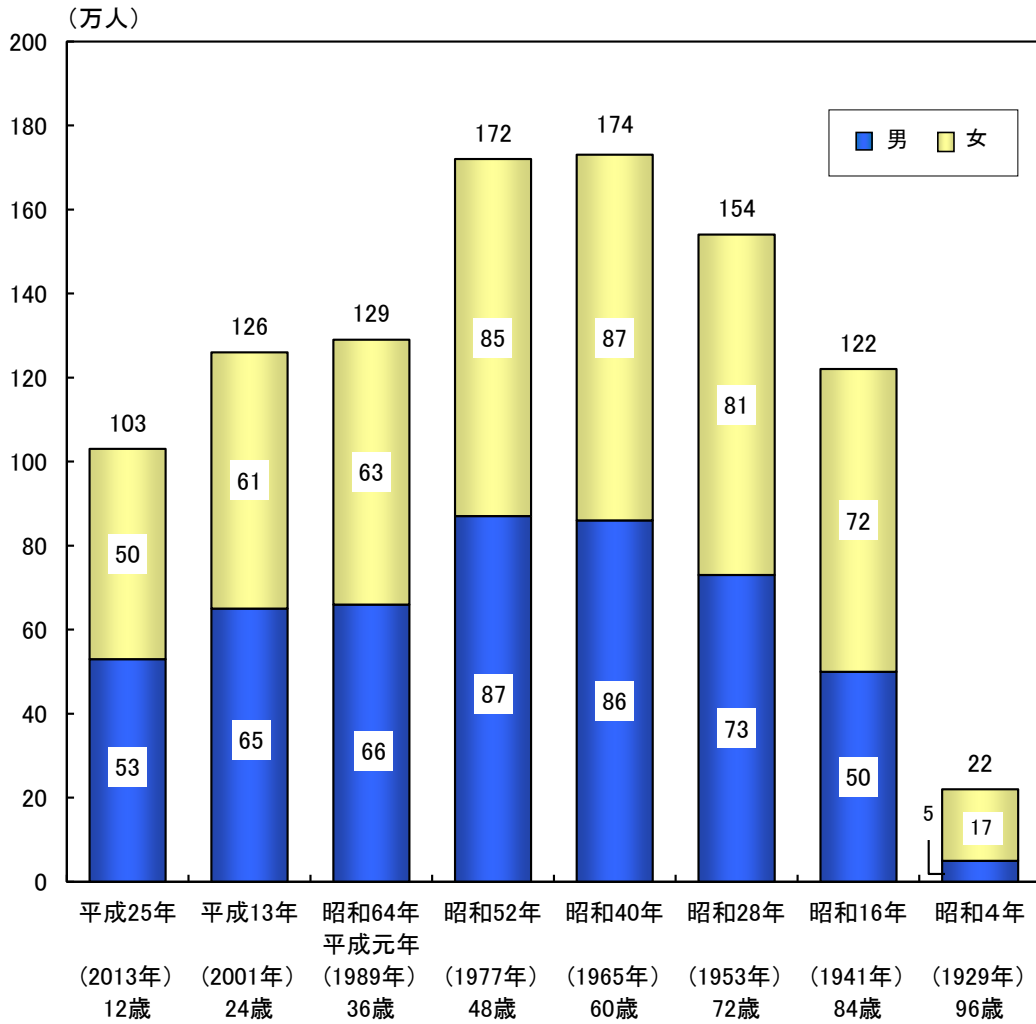


表2 男女、出生年別<sup>み</sup>已年生まれの人口

生まれた年・年齢			男女計 (万人)	総数に占める割合 (%)	男 (万人)	総数に占める割合 (%)	女 (万人)	総数に占める割合 (%)
総数	—	—	1002	100.0	485	100.0	516	100.0
平成25年	(2013年)	12歳	103	10.3	53	10.8	50	9.7
平成13年	(2001年)	24歳	126	12.6	65	13.4	61	11.9
昭和64年 平成元年	(1989年)	36歳	129	12.9	66	13.6	63	12.2
昭和52年	(1977年)	48歳	172	17.2	87	18.0	85	16.5
昭和40年	(1965年)	60歳	174	17.3	86	17.8	87	16.9
昭和28年	(1953年)	72歳	154	15.4	73	15.1	81	15.6
昭和16年	(1941年)	84歳	122	12.2	50	10.3	72	14.0
昭和4年	(1929年)	96歳	22	2.2	5	1.0	17	3.2

\* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。  
 \* 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。  
 \* 図及び表中の年齢は、令和7年に誕生日を迎えた時の年齢  
 \* 十二支別人口は、12月末までのデータにより推計した1月1日現在人口のため、令和7年生まれ<sup>み</sup>の已年の人は含まれない。

## Ⅱ 新成人人口は109万人

新成人人口(平成18年生まれ・18歳)は109万人で前年比3万人増  
男性は56万人、女性は53万人

この1年間(令和6年1月～12月)に、新たに成人に達した人口(令和7年1月1日現在18歳の人口)は109万人で、前年と比べると3万人の増加となっています。

男女別にみると、男性は56万人、女性は53万人で、男性が女性より3万人多く、女性100人に対する男性の数(人口性比)は105.2となっています。(表3、図3)

新成人人口及び総人口に占める割合は前年に比べ増加、上昇

新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム(昭和22年～24年)世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人(総人口に占める割合は2.40%)で最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人となりました。その後、昭和50年代後半から再び増加傾向を続け、第2次ベビーブーム(昭和46年～49年)世代の人が成人に達した時に200万人台(最多は平成6年207万人)となった後、平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向を続けています。

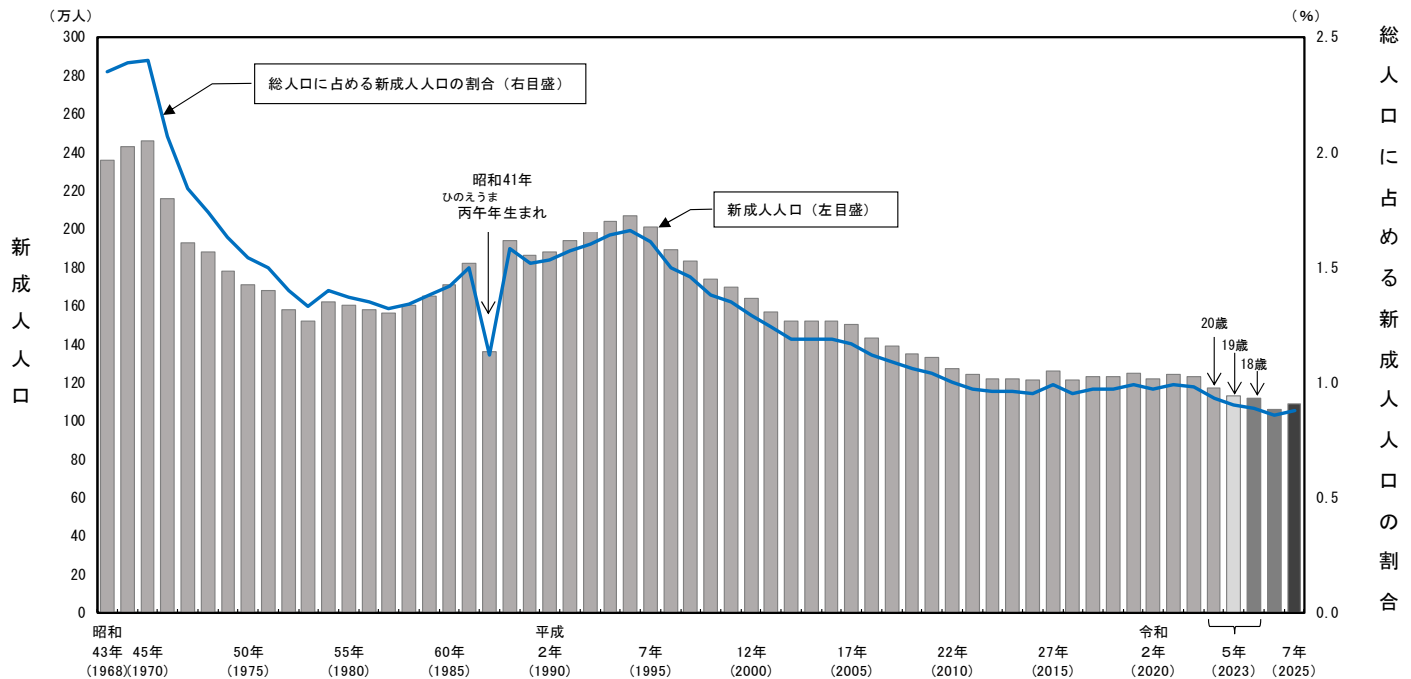
表3 新成人人口の推移

年次(西暦)	新成人人口(万人)			総人口に占める割合(%)	人口性比	年次(西暦)	新成人人口(万人)			総人口に占める割合(%)	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男	女		
昭和43年(1968)	236	119	117	2.35	101.6	平成11年(1999)	170	87	83	1.35	105.2
44(1969)	243	123	121	2.39	101.9	12(2000)	164	84	80	1.29	105.4
45(1970)	246	124	123	2.40	101.0	13(2001)	157	81	77	1.24	105.3
46(1971)	216	110	106	2.07	103.9	14(2002)	152	78	74	1.19	104.7
47(1972)	193	98	96	1.84	102.0	15(2003)	152	77	74	1.19	104.7
48(1973)	188	94	94	1.74	100.8	16(2004)	152	78	74	1.19	104.7
49(1974)	178	89	89	1.63	100.6	17(2005)	150	77	73	1.17	104.9
50(1975)	171	87	84	1.54	103.6	18(2006)	143	73	70	1.12	105.0
51(1976)	168	86	83	1.50	103.7	19(2007)	139	72	67	1.09	106.4
52(1977)	158	81	77	1.40	104.5	20(2008)	135	69	66	1.06	105.2
53(1978)	152	77	75	1.33	102.8	21(2009)	133	68	65	1.04	104.9
54(1979)	162	82	80	1.40	103.3	22(2010)	127	65	62	1.00	104.7
55(1980)	160	81	78	1.37	103.9	23(2011)	124	63	61	0.97	104.2
56(1981)	158	81	78	1.35	104.3	24(2012)	122	62	60	0.96	104.9
57(1982)	156	80	76	1.32	104.5	25(2013)	122	63	59	0.96	105.4
58(1983)	160	81	78	1.34	104.2	26(2014)	121	62	59	0.95	105.1
59(1984)	165	84	81	1.38	104.3	27(2015)	126	65	61	0.99	105.5
60(1985)	171	87	83	1.42	104.8	28(2016)	121	62	59	0.95	105.1
61(1986)	182	93	89	1.50	104.2	29(2017)	123	63	60	0.97	105.8
62(1987)	136	70	66	1.12	105.7	30(2018)	123	63	60	0.97	105.5
63(1988)	194	99	95	1.58	103.9	31・令和元年(2019)	125	64	61	0.99	105.5
64・平成元年(1989)	186	96	91	1.52	105.3	2(2020)	122	63	59	0.97	105.8
2(1990)	188	97	92	1.53	105.5	3(2021)	124	64	60	0.99	105.6
3(1991)	194	99	94	1.57	105.4	4(2022)	123	63	60	0.98	104.4
4(1992)	199	101	97	1.60	104.2	5(2023)	341	175	166	2.73	105.6
5(1993)	204	104	99	1.64	105.0	うち20歳	117	60	57	0.93	105.6
6(1994)	207	106	101	1.66	105.0	うち19歳	113	58	55	0.90	105.8
7(1995)	201	103	98	1.61	105.6	うち18歳	112	57	54	0.89	105.6
8(1996)	189	97	92	1.50	105.3	6(2024)	106	55	52	0.86	105.5
9(1997)	183	94	89	1.46	104.7	7(2025)	109	56	53	0.88	105.2
10(1998)	174	89	85	1.38	105.0						

令和7年の新成人人口は109万人、総人口に占める割合は0.88%で、前年と比べ3万人増加、0.02ポイント上昇となりました。これは、令和7年の新成人の出生年である平成18年の出生数が、平成17年に比べ増加したことによる影響と考えられます。

(表3、図3)

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移



- \* 「人口推計」(各年1月1日現在)
- \* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- \* 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- \* 昭和47年までは沖縄県を含まない。
- \* 新成人人口は、令和4年までは20歳、令和5年は18歳、19歳及び20歳(民法の一部を改正する法律(平成30年法律第59号)の施行に伴う経過措置)、令和6年以降は18歳を対象としている。

# さあ、一緒に！ 国勢調査員 大募集




 **国勢調査 2025**

調査期日 2025年10月1日

## ..... 利用と問合せについて .....

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。  
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

人口推計

検索 

- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。  
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi1430.html>
- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。  
(例) 「人口推計」(総務省統計局)

### 【問合せ先】



総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係  
〒162-8668 東京都新宿区若松町 19 番 1 号  
TEL : 03 (5273) 1009  
Eメール : c-suikei@soumu.go.jp